



SDGsの最新トレンド

～SDGsを理解しましょう～

2022年2月2日Ver.1

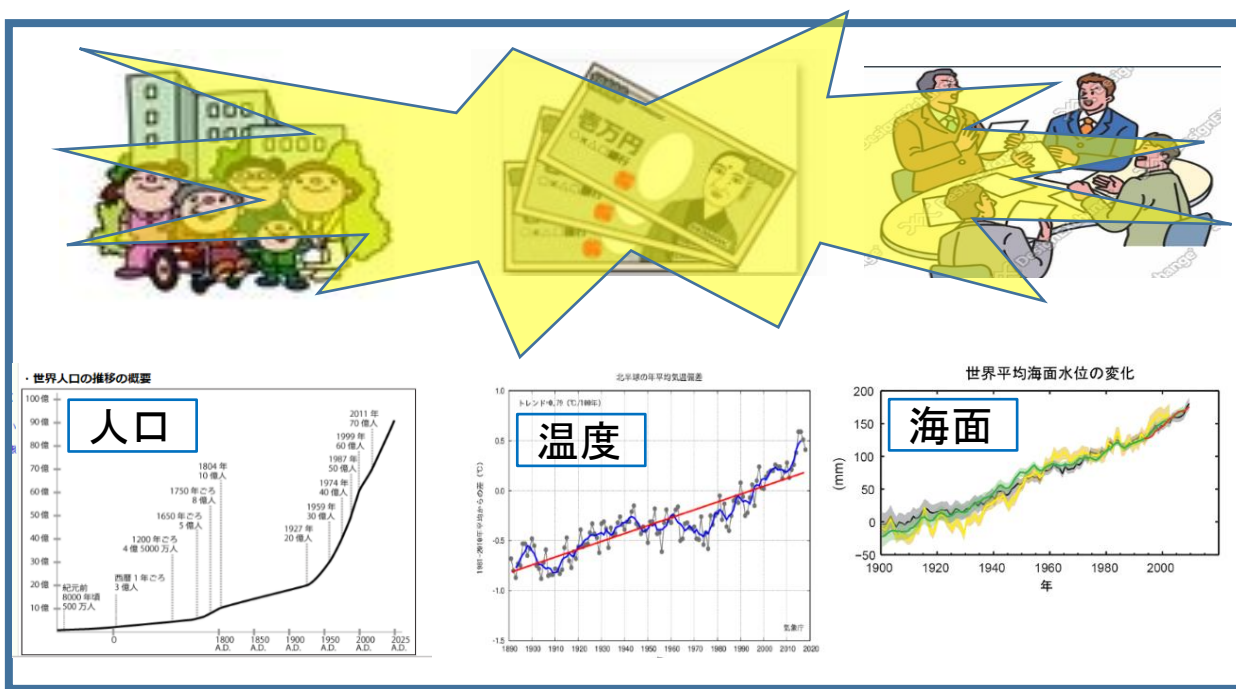
公益社団法人 日本技術士会 神奈川県支部

技術士（機械部門）

栗島建治

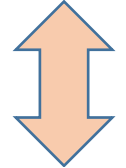
1. 事業運営の基盤の理解

- 2030年に向けて、あなたの会社は持続可能ですか？
 - 働く人々を充実・充足できますか？
 - モノ造りの原材料を安定調達できますか？
 - 事業運営への投資を計画通り継続できますか？



SOLUTIONS

持続可能性



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

2. SDGsの原点と展開

●「持続可能な開発のための2030アジェンダ」

(1) 2015年9月第70回国連総会で全会一致で採択

- ・このアジェンダは、人間、地球及び繁栄のため行動計画
- ・**誰一人取り残さない**(No one left behind)

(2)「持続可能な開発目標」(SDGs)

- ・17の持続可能な開発のための目標と、169のターゲット
- ・各国の政策に定め優先度を尊重しつつ、すべての国に適用
- ・**経済、社会及び環境**というその三つの側面において、バランスがとれ統合された形で達成することにコミット

(3)各レベルでのフォローアップの枠組み

- ・各国政府が、国、地域、世界レベルでのフォローアップとレビューに第一義的な責任⇒目標毎の232のモニタリング指標
- ・年1回の国連「ハイレベル政治フォーラム」によるフォロー



3. SDGsの最新話題

● 17の目標



● 169のターゲットと232の指標

最終更新日：2019年4月 国連統計部の以下のURLに掲載されている指標を総務省で仮訳した。		仮訳
ゴール9 強靱(レジリエント)なインフラ構築、包摂的かつ持続可能な産業化の促進及びイノベーションの推進を図る		
ターゲット	指標(仮訳)	
9.1 全ての人々に安価で公平なアクセスに重点を置いた経済発展と人間の福祉を支援するために、地域・越境インフラを含む質の高い、信頼でき、持続可能かつ強靱(レジリエント)なインフラを開発する。	9.1.1	全季節利用可能な道路の2km圏内に住んでいる地方の人口の割合
	9.1.2	旅客と貨物量(交通手段別)
9.2 包摂的かつ持続可能な産業化を促進し、2030年までに各国の状況に応じて雇用及びGDPに占める産業セクターの割合を大幅に増加させる。後発開発途上国については同割合を倍増させる。	9.2.1	GDPに占める製造業付加価値の割合及び一人当たり製造業付加価値
	9.2.2	全労働者数に占める製造業労働者数の割合
9.3 特に開発途上国における小規模の製造業その他の企業の、安価な資金貸付などの金融サービスやバリューチェーン及び市場への統合へのアクセスを拡大する。	9.3.1	産業の合計付加価値のうち小規模産業の占める割合
	9.3.2	ローン又は与信枠が設定された小規模製造業の割合
9.4 2030年までに、資源利用効率の向上とクリーン技術及び環境に配慮した技術・産業プロセスの導入拡大を通じたインフラ改良や産業改善により、持続可能性を向上させる。全ての国々は各国の能力に応じた取組を行う。	9.4.1	付加価値の単位当たりのCO2排出量

● SDGsの経済効果

・ESG投資の急拡大
社会課題解決に取組み、未来の実現に役立つ会社に投資

・世界で35.3兆ドル

2年前比**15%増**

日本は2.9兆ドル

2年前比**34%増**

(出典：世界持続的投資連合2020年)

・サステイナブル投資514兆円

前年比**65.8%増** (2021年)





(出展：日本サステイナブル投資フォーラム)

● 期待

四面楚歌を三方よしに変える

魔法の杖～SDGsに期待

4. トレンドをひもとく(1)

組織	2015年以前	2015年～2017年
	MDGs	2015年9月SDGs採択 2015年12月COP21パリ協定採択 SDGs国連コミュニケーションの発信
	長期のデフレ 震災復興 インフラ寿命	2016年SDGs推進本部を設置、SDGs実施指針を策定 2017年ジャパンSDGsアワード公表 2017年SDGsアクションプラン2018の公表
	人口減 少子高齢化 シャッター街	SDGs未来都市27件 地方創生 1億総活躍社会
	CSR、BCP ISO改定・拡大 企業不祥事	ソサイティ5.0、社会課題の解決 IoT、デジタル化・グローバル化 CSV経営、ESG投資 GPIFは2015年に責任投資原則に署名

4. トレンドをひもとく (2)

年代	2018年～2020年	2021年以降
	2019年G20大阪サミット 首脳級政治フォーラム 持続可能な開発目標の報告2020	国連コミュニケーションの 継続と強化
	SDGsアクションプラン2019,2020の公表 東京オリンピック/パラリンピック開催⇒2021 産官学連携による多様な取組み推進	女性活躍推進 アワード公表1万社 循環型社会の形成
	全県にSDGs未来都市 働き方改革 地域力の創造・地方の再生	大阪・関西万博開催 地域循環共生圏創造 地方分権改革
	金融業界のESG投資が急拡大 オリンピック調達コード 企業の調達ガイドラインの変更 社会課題対応ISO規格の充実 諸団体によるSDGs推進	石炭火力新設中止 AI、自動運転普及 ESG投資基準形成 脱炭素化社会 気候変動影響への対処

4. トレンドをひもとく (3)

● キーワード

①MDGs: 2000年9月採択のミレニアム開発目標、途上国開発が主眼

②CSR: 企業の社会的責任

③BCP: 事業継続計画

④ISO: 国際標準化機構が定めた規格

⑤CSV: 創造・市場・価値

⑥ESG: 環境・社会・企業統治

⑦GPIF: 年金積立金管理運用独立行政法人

(責任投資原則 原則1.私たちは投資分析と意志決定のプロセスにESGの課題を組み込みます。)

⑧ソサイティ5.0: 日本が提唱する「超スマート社会」という未来社会のコンセプト

⑨オリンピック調達コード: 調達する物品やサービスに共通して適用する基準

⑩SDGs未来都市: 政府が選定したSDGsの達成に取り組みモデル構築の都市

⑪COP21: 国連気候変動枠組条約第21回締約国会議

5. 国及び県の注目トレンド (1)

●国のトレンド

- ・2016年5月政府が「SDGs推進本部」を設置
目的: 持続可能な開発目標 (SDGs) に係る施策の実施について、関係行政機関相互の 緊密な連携を図り、総合的かつ効果的に推進する。
活動: **SDGsアクションプラン** 及びSDGs実施指針(国家戦略)の広報、
ジャパンSDGsアワード選定と表彰
→詳細は「ジャパンSDGsアクション・プラットフォーム」で公開
- ・内閣府: 「地方創生SDGs官民連携プラットフォーム」発足
目的: 地方創生に資するSDGs推進事業に資する、広範なステークホルダーとのパートナーシップの深化、官民連携の推進を図る。
活動: SDGs推進に当たり、共通の問題や課題に対する検討・取組の具体化に向けた調査・検討を、分科会で実施中。
- ・環境省: 環境に配慮した事業活動の促進として、持続可能な開発目標 (SDGs) 活用ガイドの作成、ESG 投融資の普及啓発を実施中。

5. 国及び県の注目トレンド (2)

●SDGs未来都市/自治体SDGsモデル事業 (出展: 地方創生SDGs官民連携プラットフォーム)

SDGsアクションプランの一つである「SDGsを原動力とした地方創生」の取組みとして、毎年SDGsモデルになるSDGs未来都市及び自治体SDGsモデル事業を選定し、選定証を授与している。

SDGs未来都市及び自治体SDGsモデル事業 (記載は関東圏)	
2021年度	県及び市等 31 選定: 茨城県境町、群馬県、埼玉県、千葉県市原市、墨田区、江戸川区、神奈川県松田町
2020年度	県及び市等 33 選定: 春日部市、豊島区、相模原市
2019年度	県及び市等 31 選定: 宇都宮市、みなかみ町、さいたま市、日野市、川崎市、小田原市
2018年度	県及び市等 29 選定: つくば市、神奈川県、横浜市、鎌倉市



6. 企業の動向(1)

● ジャパンSDGsアワード(代表例)

SDGs目標			
製造業1 環境と経済課題解決	8 働きがいも 経済成長も 	12 つくる責任 つかう責任 	13 気候変動に 具体的な対策を 
製造業2 社会と経済課題解決	3 すべての人に 健康と福祉を 	8 働きがいも 経済成長も 	12 つくる責任 つかう責任 
サービス業 社会と経済課題解決	4 質の高い教育を みんなに 	10 人や国の不平等 をなくそう 	17 パートナーシップで 目標を達成しよう 

6. 企業の動向(2)

●所見

項目	所見
企業動向のトレンド	事業プロセスが元来SDGs指向であった企業とSDGsを戦略として新たに取組む企業の2極化。いずれであっても、全社的活動にすることが重要。結果として、会社の持続可能性が進展できる。
SDGsのメリット	①会社知名度・ブランド価値の向上、②企業価値向上経営、③人材獲得力向上・組織の活性化、④社会ニーズの先取り、⑤サプライチェーン獲得・維持、関係強化⑥国際社会の方向性に合致した事業戦略、⑦イノベーションの機会、⑧リスクマネジメントシステムの整備、⑨投資家評価向上と融資機会の獲得、⑩利害関係者への説明責任強化

6. 企業の動向(3)

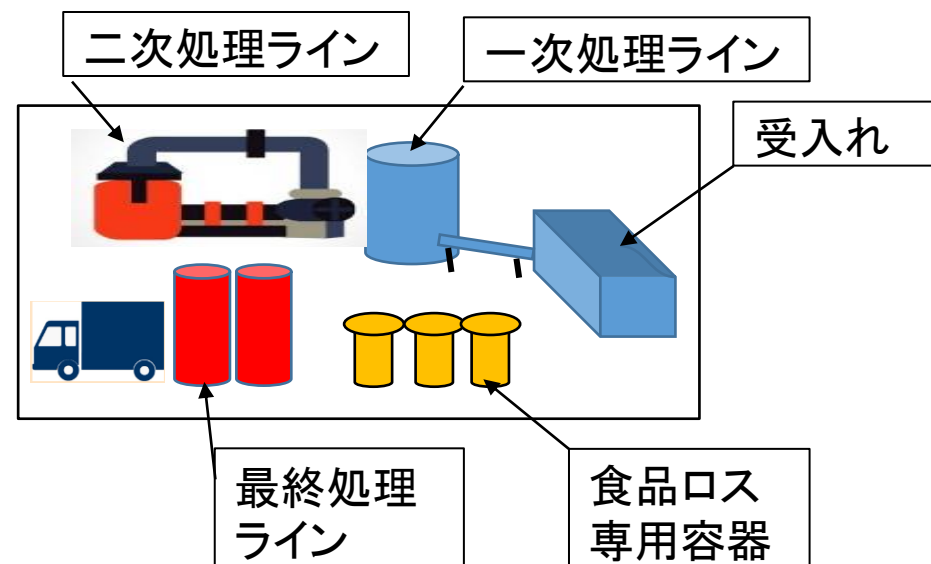
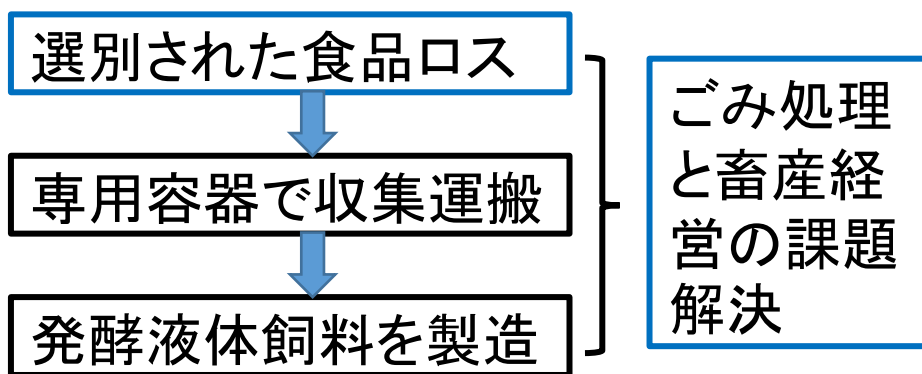
●株式会社日本フードエコロジーセンター訪問記録

(第2回ジャパンSDGsアワード 内閣総理大臣賞受賞企業)

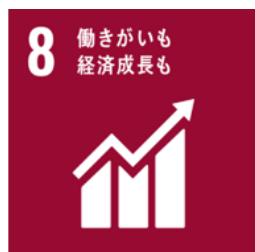
住所: 神奈川県相模原市中央区田名塩田 訪問日: 2019年12月9日

企業理念: 「食品ロスに新たな価値を」

ビジネスモデル

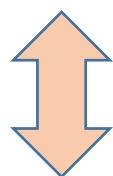


SDGs目標/環境と経済課題解決



7. SDGsの核心

- 我が社にもできるか？
- 何から着手すればいいの？



17の目標の吟味



ターゲットの理解



指標概要を知る



さあー実践しましょう！

番号	目標
1	貧困をなくそう
2	飢餓をゼロに
3	すべての人に健康と福祉を
4	包摂的かつ公正な質の高い教育をみんなに
5	ジェンダー平等を実現しよう
6	安全な水とトイレを世界中に
7	エネルギーをみんなにそしてクリーンに
8	働きがいも経済成長も
9	産業と技術革新の基盤を作ろう
10	人や国の不平等をなくそう
11	住み続けられるまちづくりを
12	つくる責任つかう責任
13	気候変動に具体的な対策を
14	海の豊かさを守ろう
15	陸の豊かさを守ろう
16	平和と公正をすべての人に
17	パートナーシップで目標を達成しよう

【ご清聴ありがとうございました。】

問合せ先

公益社団法人 日本技術士会神奈川県支部

TEL : 045-210-0337 FAX : 045-210-0338

E-mail : kanagawa@engineer.or.jp